

子どもの4つのタイプと ラクラクコミュニケーション

©思春期の生きる力コーチングカレッジ 2018

お子さんについて『なんでこんな行動をするんだろう?』『話を通じない』と思うことってありませんか?

思春期になると子どもの個性がはっきりとしてきます。

実は親子でもタイプが違っていると、伝わりやすいコミュニケーション方法や苦手な関わられ方が異なることがあるんです!

御自分とは違うタイプの特徴とコミュニケーションのポイントが分かったことでお子さんとのコミュニケーションがすっかりラクになったという方も多いです ^^



まずはお子さんのタイプを見つけましょう。

A、B、C、Dで、当てはまるものはそれぞれいくつあるでしょうか

「とても良く当てはまる」を2点、「まあそうだ」を1点、「そうでもない」「わからない」を0点にして合計してみてくださいね

「1」タイプチェック

A:

- ① マイペースだと感じる
- ② たくさんの友だちを自分から求める方ではない
- ③ わりと感情がたんたんとしている
- ④ 話し方が単語だったり、短い文が多い
- ⑤ あまりバタバタとは動かない
- ⑥ 体型は細身でスラッとしている
- ⑦ 見ていると「気が利かないかも」と思うことがある

2 x + 1 x =

B:

- ① 周りのことによく気がつく
- ② 多くの人と仲良くなる
- ③ 感情が豊か
- ④ 言葉が多く、色々な話題について話す
- ⑤ まめに動き回る
- ⑥ 体型は丸みと柔らかさがある
- ⑦ 見ていると「気を使い過ぎじゃないかな～」と思うことがある



$$2 \times \square + 1 \times \square =$$

C:

- ① 自分なりのこだわりがある
- ② 好きなことには夢中になる
- ③ 興味を持つともっと知りたがる
- ④ わかってほしい時は詳しく、長く話す
- ⑤ 好きなことにはまめ
- ⑥ 筋肉質だったり「濃さ」がある
- ⑦ 見ていると「熱中しすぎないかな～」と思うことがある

$$2 \times \square + 1 \times \square =$$

D:

- ① 周りを楽しくさせるのがうまい
 - ② 知らない人とも友だちになりやすい
 - ③ どことなく華やかな感じがある
 - ④ 感覚的なセンスがいい
 - ⑤ 軽く動き回る
 - ⑥ 身体が柔らかそうなイメージがある
 - ⑦ 見ていると「落ち着いたほうが良いのに」と思うことがある
-

$$2 \times \square + 1 \times \square =$$



結果

A =

B =

C =

D =

点数が大きかった順番：

「2」タイプの解説と、伸ばす関わり方

この4つのタイプの要素はどなたに全部もあります。(実はホルモンが関係しています)

ただその人によって強く出るものと弱いものがあるんです。

2つのタイプの要素が同じくらい強いという人もいます。



親子や夫婦でも、強いタイプが違うことはよくあります。

表面上は環境からの刺激で、別のタイプのようにふるまうことが癖になっていることもあります。もともと持っている強いタイプは生涯なくなるわけではありません。

本来のタイプに合う関わりの方が、ずっとスムーズにコミュニケーションできます。

A タイプ

【解説】 昔ながらの職人さんのようなタイプ

- ・無口で一つのことをたんたんと進めていく力があります。
「男は黙って・・・」という、ちょっと古風な日本男児タイプです。
- ・女子でもこのタイプはいます。
そうすると、より気が利かないと言われてちょっとかわいそうだったりします。
- ・行動の中心が自分のペースです。
- ・自分のやりたいことはたんたんと、コツコツできます。

【伸ばす関わり方】

- ・コミュニケーションのコツは、ずばり「シンプル」です。
要点をおさえた言い方で、一度に一つのことを伝えるのがベストです。
- ・人のペースに合わせるのは基本的に苦手なので、その子のペースにうまく合わせて、一つずつ行動できるように伝えるのがオススメ。
- ・NGなのは「1回言えばわかるはず」「これを言えば、他のことにも気を回すはず」と期待すること
- ・さらにプラスするとすれば??
周りへの自分の行動の影響に気づかせる
言葉でやり取りする力を育てる

B タイプ

【解説】 日本では「女らしい」と求められてきたタイプ

- ・ 周りに気を配り、周りの人の気持ちを大事にすることができます。
 - ・ 女子の場合には本来子のタイプでなくても、このタイプのような振る舞いをしている人もいます。
- 女子の場合にはじっくり行動を観察してみると、他のタイプが強いこともよくあります。
- ・ 「周りの人の様子」が行動の中心になります。
 - ・ 人の気持ちに共感でき、人のために行動できます。

【伸ばす関わり方】

- ・ コミュニケーションのコツは、ずばり「共感」です。
- 何かを注意する時にもまず、頑張りを認めてあげてから伝えるといいでしょう
- ・ 周りに気を使うので、つい自分のことを忘れがちになります。
- 自分を大事にするように教えてあげることが必要な場合もあります。
- ・ NGなのは「頭ごなしに叱ること」「事務的に接すること」
 - ・ さらにプラスするとすれば??
- 自分軸をもたせる
無理のない主張の仕方や断り方を身につけさせる



C タイプ

【解説】 研究者、スポーツマン、芸術家に多いタイプ

- ・ 自分の好きなことにはとことん打ち込むことができます。
- ・ 自分がこだわっていることにはなかなか妥協しません。
- ・ 人付き合いは、上手な人も苦手な人もいます
- ・ でも、人から指示されるのは基本的には嫌いです。

【伸ばす関わり方】

- ・ コミュニケーションのコツは、ずばり「興味」です。
- 本人が自分から興味を持てるように話をするのがコツです。

- ・「他の人と違う」「自分らしさ」を大事にしているので、安易に『わかるよ』というのは共感を示しているつもりでも逆効果になるのでご注意ください！
- ・NGなのは、「細かく指示命令すること」「なんでもいいからやりなさい」ということ。本人の納得感が大事です。
そのかわり、自分が納得すればしっかりやり遂げる強さもあります。
- ・さらにプラスするとすれば？？
自分の気持や思いを言葉で伝えられるようにする
他の人の力も借りられるように導く
時間管理能力をつける



D タイプ

【解説】 芸能人などに多いタイプ

- ・その場の雰囲気を作ったり、盛り上げたりすることが得意です。
- ・言葉をうまく選んで、目の前の人を喜ばせるのが上手です。
- ・ぱっと切り替えて、過去のことを引きずらないことができます
- ・華やかさがあるので目立つことが多いです。

【伸ばす関わり方】

- ・コミュニケーションのコツは、ずばり「駆け引き」です。
言っている言葉にこだわるよりも、本人のやっていることや意図を見抜くことが大事です
- ・無理に何かを強いるのは反発するばかりなので、その子のタイミングを見て、ぱっと捕まえるのがコツになります。
- ・NGなのは「理屈で責めること」
気分や感覚を重視するからです。
- ・さらにプラスするとすれば？？
自分の言動や行動の影響にきづかせること
集中力や継続力を育てること
長期的な視野をもたせること

いかがでしたでしょうか (*^^*)

家族でも親子でもタイプが違っていると、伝わりやすいコミュニケーションの仕方が異なります。



ではここで、このタイプのすれ違いが親子でも多いわけについてお話ししましょう (^_^) b

かつての日本では、社会環境の影響で AB タイプのふるまいが多かったのです。

もともとは CD タイプでも、男子は A、女子は B 的にふるまうことが奨励されていました。

周りも AB 的振る舞いをする人がほとんどだったので、そうするのがあたりまえだと育つことがほぼほぼでした。

とても強烈な CD タイプの人が文学・芸事やスポーツの世界でその個性を発揮していましたが、そのように「自分らしさ」を存分に発揮している・できる人は、人口全体から見るととても少数派だったんです。

ところがイマドキの子どもたちの社会環境は、どんどん大きく変わっています。

大量の情報と IT 技術によって、とても小さい頃からたくさんの刺激を受けています。

自分の周りにいない人たちのことも動画で知ることのできるのも、振る舞い方の選択肢がたくさんあることが既にわかっているんです。

「自分の好み」や「自分らしさ」をガンガン刺激されるので、自分のこだわりで動きたい C タイプや自分のその時の感覚で動きたい D タイプが、本来のタイプのままにふるまったり、その個性を強く出すことが多くなってきました。

いわゆる「個性的な子」が増えているという状態です (^_-)

このような社会環境の変化があるので、イマドキの子育て現場では、ABタイプの振る舞いがアタリマエになっているお母さん・お父さんが、CDタイプがはっきりしているお子さんのことが理解できないという事例がとて増えています。



『なんで周りに気を使わないんだろう・・・』

『あれもこれもと気が散ってばかりだ・・・』

またお子さん自身が、一定年齢までは自分と合わないタイプのなふるまいをしてきたのに、思春期になって本来の優位なタイプが出てきて、自分自身で混乱してしまうこともあります。

さらに「人に気を使って合わせたいBタイプと自分のこだわりを極めたいCタイプ」を同じくらい強く持っていることで、自分の中で葛藤が起きてしまうお子さんもよくいます。

そんな時でもご安心ください！

自分の本来のタイプを知って、うまく付き合えるようになることで、だんだん自分らしい振る舞い方を自分で選べるようになるんです。

短所も長所も裏返し。

特徴を知ってうまくつきあえるようになればいいんです (*^^*)

そしてお母さん・お父さんがお子さんのタイプと関わり方がわかることで、親子関係がぐっと改善されたという事例もとてもたくさんあります。

さらに、お母さん・お父さんがお子さんを通してご自分の本来のタイプに気づき、ご自分も楽になったりお子さんとうまくやれるようになるという事例も多かったです。

また、ご夫婦でお互いがわかって仲良くなったというお話もよくお聞きします (^^)／

それぞれのタイプの良いところを伸ばし、苦手をうまくカバーできるようになると、誰でも自分の個性を活かせるようになるんです。

これからは個性の時代です！

この「4つのタイプ別ラクラクコミュニケーション」を様々な場面で使って、役立ててくださいね♡

より詳しく具体的な内容を、講座でもお伝えしています。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

あなたとお会いできることを楽しみにしています。

